

第2回 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和3年8月30日(月) 13時00分～16時05分
開催場所	保土ヶ谷区役所2階 202会議室
出席者	〈委員〉 志村委員長、大久保委員、金子委員、橋委員、福村委員(以上5名) 〈事務局〉 椎葉課長、李係長、佐藤、田村(以上4名)
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者:なし) ※議題3以降非公開
議 題	<p>1 オリエンテーション</p> <p><u>〈権太坂コミュニティハウス〉</u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p> <p><u>〈桜ヶ丘コミュニティハウス〉</u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p> <p><u>〈瀬戸ヶ谷スポーツ会館〉</u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答</p> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>4 指定候補者の決定</p>
議 事	<p>1 オリエンテーション 選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について事務局より説明。</p> <p><u>〈権太坂コミュニティハウス／特定非営利活動法人ワーカーズコープ〉</u></p> <p>2 応募団体面接審査 (1) プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。 (2) 質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。 主な質疑応答の内容は以下のとおり。</p> <p>-----</p> <p>委 員：地域コーディネートの取組である「子どもいきいきクラブ」について、中学生になったらどのように参加するのか。部活などで忙しく離れてしまうのでは。 応募団体：社会人になるまでの課程で地域作りに貢献していただく。まずはサポーターと</p>

して小学生から運営に関わり、運営を進めていく大人たちと関わってもらうことで世代間交流を生む。一時期離れていてもまた戻ってきてもらえれば。

委員：昨年から地域コーディネートに注目しているが、コーディネーターはいないのか

応募団体：コーディネートの研修に参加して、職員がコーディネーターにならないといけない。相談はよくいただくので、館で募集しているサークル・活動を案内している。

委員：日常清掃は職員がしているのか。

応募団体：ワックスがけ等法人内の業者で専門的な清掃をしている

委員：新型コロナウイルス対策について、工夫など考えていたら教えてほしい。

応募団体：入館時に手の消毒や、氏名連絡先・検温値の記入など実施している。

3 意見交換、評価シート記入

(1) 応募団体の暴力団該当の可否、現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。

(2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

(3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・プレゼンテーションが評価項目に沿っており分かりやすかった。
- ・全体的に色々なことに取り組む姿勢を感じられた。

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、特定非営利活動法人ワーカーズコープは850点満点中664点となり、最低基準点(480点)も満たしているため、特定非営利活動法人ワーカーズコープを指定候補者として決定した。

5 特筆すべき提案について

指定候補者の特筆すべき提案は「なし」として決定。

<桜ヶ丘コミュニティハウス／一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：幅広い世代でリピーターが多いようだが、何か工夫しているのか。

応募団体：中学生～大学生は少ないが、30～40代は比較的利用がある。それ以外の世代

は、図書の方が大きい。親子での利用が多く、土日に関しては2つの世代が来る。今は図書とプレイルームがメインである。

委員：近くに学校が4つあると思うが、そこへのPRはどうか。

応募団体：今は回覧が回せない状況。夏休み前に小学校にお願いして夏休み特集号を貼っていただく。また、小中学校は運営委員会に入っている。

委員：施設が入り組んだ場所にあるが。

応募団体：知る人ぞ知るといふ雰囲気になっている。小中学生も知っている子が来るといった感じ。ご近所からの利用が多い。

委員：訪問者の数は。

応募団体：新型コロナウイルスの影響が大きく、一昨年比 48%減である。今までは入館者数3万人程度だったが、令和2年度に1万7千人程度に減った。

3 意見交換、評価シート記入

- (1) 応募団体の暴力団該当の可否、現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。
- (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間問題は問題なく指定管理を行うことができると判断した。
- (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。

<主な意見>

- ・特になし

4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果、800点満点中624点となり、最低基準点(480点)も満たしているため、一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。

5 特筆すべき提案について

指定候補者の特筆すべき提案は「なし」として決定。

<瀬戸ヶ谷スポーツ会館／一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会>

2 応募団体面接審査

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施。

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施。

主な質疑応答の内容は以下のとおり。

委員：体育館と会議室がそれぞれ1つだけだが、大きな部屋でやる行事は1日を数コマに分けているのか。会議室は何に使っているのか。

応募団体：午前、午後2コマ、夜間に分かれている。空いているだろうと思われる日に事

	<p>業を行っている。会議室ではミーティングと麻雀を主に行っている。</p> <p>委員：職員が1名ということだが緊急時はどうするのか。 応募団体：団体利用者会議で緊急時の対応を説明し、協力依頼をしている。また、5分以内に現地にいけるスタッフが7名中3名いる。有事の際にすぐ駆けつけることができるようにしている。</p> <p>委員：今の指定管理料では常時一人しか付けられないという理解か。 応募団体：そのとおりである。常時2名体制では仕事がそこまで無いという状況。</p> <p>委員：瀬戸ヶ谷スポーツ会館という名称について、コミハ等との違いは。 応募団体：他区にもスポーツ会館は存在し、テニスコートなどあるが当区では無い。スポーツ中心の施設という仕分け。</p> <hr/> <p>3 意見交換、評価シート記入</p> <p>(1) 応募団体の暴力団該当の可否、現指定管理者の管理運営状況について事務局より説明。 (2) 応募団体の財務状況について、金子委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。 (3) 提案内容について委員による意見交換を実施。 <主な意見> ・特になし</p> <hr/> <p>4 指定候補者の決定</p> <p>各委員の評価点を集計した結果、800点満点中595点となり、最低基準点(450点)も満たしているため、<u>一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定</u>した。</p> <p>5 特筆すべき提案について</p> <p>指定候補者の特筆すべき提案は「なし」として決定。</p>
<p>資料</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 選定委員会の進め方等について (2) 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会名簿 (3) 席次表 (4) 選定委員会 当日スケジュール (5) 現指定管理者運営実績資料 (6) 現指定管理者運営実績評価シート (7) 応募書類 (8) 評価シート (9) 確認書(応募団体との利害関係について)</p>